

緊急時対策棟について（１／２）

玄海原子力発電所では、重大事故等が発生した場合の指揮所となる緊急時対策所について、これまで新規制基準に適合した「代替緊急時対策所」を運用してきましたが、更に、会議室や対策要員の休憩スペースの拡充など、支援機能の充実を図った「緊急時対策棟」を新たに設置し、２０２４年１０月３０日から運用を開始しました。

【外 観】

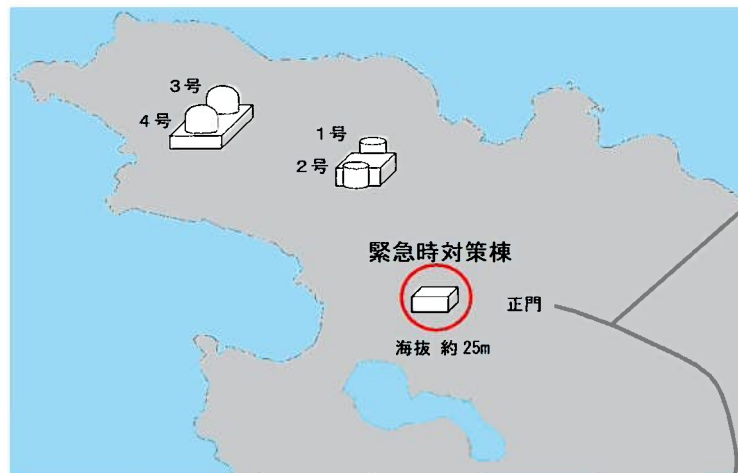


2021年5月 着工



2024年10月30日 運用開始

【設置位置】

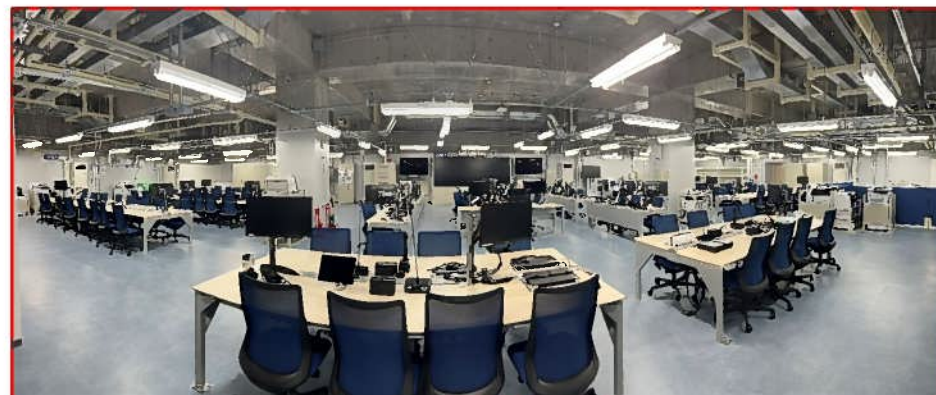


【仕 様】

項 目	概 要
建 物	・建屋構造：耐震構造（地上２階、地下２階） ＜主な施設＞ ・指揮所：１部屋 ・会議室：１５部屋（大、中、小会議室含む） ・医務室：１部屋 ・環境放射能測定室：１部屋 ・休憩室：２部屋（休憩エリア含む） ・延床面積：約 6,080m² ・緊急時対策所面積：約 820m²
炉心からの距離	・３、４号機の炉心から約 740m
収容人数	・指揮所：最大 100 名 ・地下 1, 2 階：200 人以上
遮 蔽	・厚さ：700mm以上
非常用換気設備	・ファン、フィルタユニット ・加圧空気ボンベ：1, 100 本（うち予備 100 本）
非常用電源設備	・発電機車：1, 825kVA×3 基（予備含む） ・燃料油タンク：75kℓ×2 基
モニタ類	・放射線エリアモニタ ・酸素濃度計、二酸化炭素濃度計
通信連絡 情報収集設備	・衛星携帯電話 ・緊急時運転パラメータ伝送システム ・データ表示装置
食料・水等	・事故時の対応要員 100 人が外部からの支援なく 7 日間の対応が可能となるよう保管

緊急時対策棟について（2／2）

指揮所



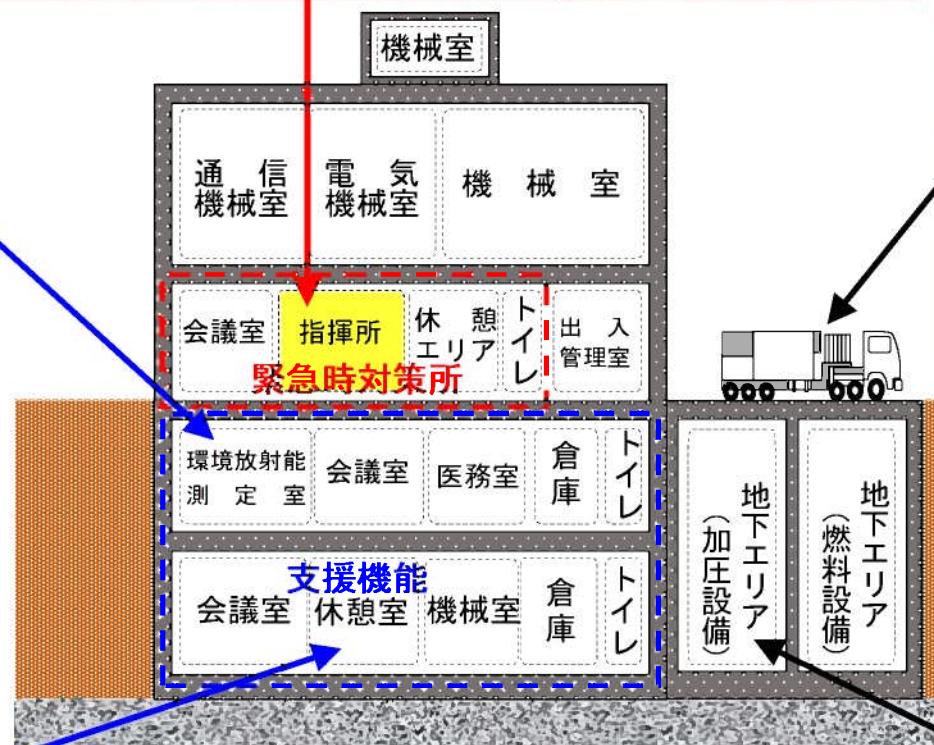
環境放射能測定室



緊急時対策所用発電機車



休憩室



地下エリア（加圧設備）



【緊急時対策棟 断面図】